

フライ油リサイクルシステム

plenus

2009年10月14日
株式会社プレナス

代表者	代表取締役社長 塩井辰男
本社	福岡市博多区
店舗数	2,509店舗(ほっともっと2,351店舗、やよい軒158店舗) 8月末現在
事業内容	ほっともっと・フランチャイズ業 やよい軒・フランチャイズ業
創業	昭和35年3月
設立	昭和51年11月
資本金	34億61百万円
従業員数	社員1,170名、パートタイマー5,411名(1日8時間換算)
主要取引先	ニチレイ、日本ハム、中央化学、丸紅、日本水産ほか
上場	東京証券取引所第一部
売上高	1,183億8百万円(平成21年2月期)



持ち帰り弁当チェーン

ほっともっと

2,351店舗

37都道府県で展開中

佐賀県内に61店舗



定食チェーン

やよい軒

158店舗

九州・関東・関西を

中心に展開中

佐賀県内に1店舗



plenus フライ油リサイクルシステム

4

食材等を
店舗に配送



フライ油



物流センター



HottoMotto ほっともっと
やまの軒 山本軒

1

使用済みフライ油
回収



2

バイオディーゼル
燃料を製造

バイオディーゼル燃料製造プラント



3

配送車に給油



プレナス ステーション



plenus システム導入の目的

平成19年10月

九州・山口地区で本格稼働開始

- 当社が運営する店舗から出た使用済みのフライ油をリサイクルし、資源循環型社会の一端を自社内で担うことができる。
- チェーン店という特性を生かし、同じ品質の使用済みフライ油から品質、量ともに安定したバイオディーゼル燃料を製造できる。
- バイオディーゼル燃料のCO₂の排出量はゼロカウントとされているため（カーボンニュートラル）、地球温暖化防止に繋がる。
- 廃食用油をバイオディーゼル燃料化することで、限られた地球資源の使用量を削減できる。

地球環境に配慮・貢献し、
企業としての社会的責任が果たせる。

plenus バイオディーゼル燃料(BDF)とは？

植物の含有油脂を原料とした、ディーゼルエンジンを稼働させることのできる軽油代替燃料。

地下資源の石油から製造する軽油に代表されるディーゼル燃料が、燃焼時に二酸化炭素を排出し、地上の二酸化炭素絶対量を増加させるのに対して、バイオディーゼル燃料は、原料となる植物が成長過程の光合成で二酸化炭素を吸収しているため、地上の二酸化炭素の絶対量を増加させない地球に優しい燃料であるといわれています。



plenus システム導入の効果

年間使用済みフライ油	約100万リットル
バイオディーゼル燃料年間製造量	約85万リットル
導入車両数	52台（内店舗配送車43台）
削減できるCO ₂ 量	約2,200トン

<参考>

全店舗システム導入の効果

年間使用済みフライ油	約236万リットル
バイオディーゼル燃料年間製造量	約200万リットル
削減できるCO ₂ 量	約5,240トン

※数値は全て年間の想定量
※九州・山口地区は離島・沖縄県を除く



plenus プレナスステーション

所在地	福岡県朝倉市
敷地面積	265.32㎡
建物面積	46.31㎡
タンクの容量	9,600リットル (約3日分)
特長	物流センターに併設。最も効率の良い給油所



plenus ロゴマーク



「フライ油リサイクルシステム」導入に当たって、ロゴマークを制作しました。自然環境を意識させる「雲」をモチーフにecoの文字を車の車輪のように組み入れました。全体が一筆のように見えることでリサイクルの循環もイメージしています。

フライ油リサイクルシステム

plenus